

令和6年度第1回板橋グリーンカレッジ運営協議会会議録

令和6年7月24日（水）
グリーンカレッジホール

【開 会】15時00分

（事務局）	皆様こんにちは。本日はお忙しい中、ご出席いただきまして誠にありがとうございます。ただいまより令和6年度第1回板橋グリーンカレッジ運営協議会を開会させていただきたいと思います。議長、副議長の選出まで、会の進行を務めさせていただきたいと存じます。どうぞよろしくお願い申し上げます。 本協議会につきましては、板橋グリーンカレッジ大学校及び大学院事業の円滑な運営を図ることを目的に開催するものでございます。 会議録を作成する関係から、議事の内容を録音させていただきたいと思しますので、ご協力のほどよろしくお願いしたいと存じます。 それでは、議題に入る前に資料の確認をさせていただきたいと存じます。お手元に資料をご用意いただければと思います。 資料1「板橋グリーンカレッジ運営協議会委員委嘱名簿」 資料2「令和5年度板橋グリーンカレッジの実施結果について」 資料3「令和6年度板橋グリーンカレッジの受講状況について」 資料4「令和6年度後期板橋グリーンカレッジ講義概要」 資料5「令和7年度板橋グリーンカレッジ大学校カリキュラム案」 参考資料「板橋グリーンカレッジ運営要綱」 「令和6年度板橋グリーンカレッジ大学校・大学院実施要領」 「板橋グリーンカレッジ運営協議会運営要綱」 過不足大丈夫そうでございますでしょうか。 それでは委嘱の関係でございますけれども、本協議会につきましては令和6年5月31日付けで、すべての委員の任期の方が満了となったところでございます。これに伴いまして、令和6年6月1日付で、新たに就任された委員の皆様、再任された委員の皆様に委嘱状を交付させていただきたいと存じます。なお任期につきましては令和8年5月31日までの2年間となります。 ～委嘱状交付～
（事務局）	それでは、委員の皆様のご紹介を改めてさせていただきたいと思います。 資料1「板橋グリーンカレッジ運営協議会委員委嘱名簿」も併せてご覧ください。 本協議会につきましては、運営協議会運営要綱第3条に基づきまして、区内の大学関係者、学識経験者、区民の代表、板橋グリーンカレッジOB会の代表、区職員の合計8名で構成されることになってございます。

	～委員紹介～
(事務局)	続きまして、議長の選出に移ります。 これより、令和6年度第1回板橋グリーンカレッジ運営協議会を開会いたします。議事進行に先立ちまして、正副議長の選出を行わせていただきたいと存じます。
	～議長 及び 副議長選出～
	それでは、議長よろしく願いいたします。
(議長)	初めに本協議会運営要綱第6条2項により、定足数は半数以上となっておりますが、本日は、7名の委員の出席がございますので、有効に成立していることを申し伝えさせていただきます。また、本日は傍聴者はありません。合わせてご報告いたします。 それでは、お手元に配付してある次第に従って議事を進めて参ります。まず、資料2「令和5年度板橋グリーンカレッジの実施結果について」の報告を事務局よりお願いします。
(事務局)	それでは、資料2をご覧ください。 令和5年度板橋グリーンカレッジの実施結果についてご報告をさせていただきます。 まず、受講状況でございますが、教養課程は、受講者160名のところで138名の方が今年度専門課程進学となったところでございます。専門課程につきましては、令和4年度教養課程からの進学者が121名のところ、95名の方がご卒業されたというところでございます。大学院につきましては、受講者が56名のところ、45名の方がご卒業されたところでございます。令和5年度につきましては、入学式・卒業式ともに実施することができまして、無事にすべての課程を修了することができたところでございます。 続きまして、2ページ目をご覧ください。 令和4年度から新たな取り組みといたしまして、全世代を対象といたしました、板橋グリーンカレッジオープンキャンパスを実施しているところでございます。令和5年度につきましてはシリーズ講義といたしまして、「板橋の交通史」をテーマに、全3回の講義を2期に分けて実施をしたところでございます。申込者につきましては、第1期が31名、第2期が76名で計107名の応募があったところ、キャンセルも数名おりましたため、実際の受講者につきましては98名となったところでございます。年代につきましては、30代から50代の方が6名、60代以上の方が89名という形でございました。どの講義につきましても大変ご好評の方いただいております。講義が終わった

	後も先生のところに質問者の列ができていたり、皆様大変熱心に受講されておりまして、非常に良い講演会を実施していただいたところでございます。資料 2 の説明につきましては以上になります。
(議長)	ありがとうございます。資料 2 の説明が終わりました。ご質問、ご意見のある方は、ご発言ください。 ないようでしたら、また後でさかのぼってもいいですから、何かありましたら、その時に質問等してください。 続きまして、資料 3 「令和 6 年度板橋グリーンカレッジの受講状況について」の説明を事務局からお願いします。
(事務局)	はい。それでは続きまして、資料 3 をご覧いただきたいと存じます。 令和 6 年度板橋グリーンカレッジの受講状況についてご報告をさせていただきます。受講状況につきましては、令和 2 年度からの推移を掲載させていただいております。受講生募集につきましては、例年 1 月の中旬に行っておりまして、今年度の人数はその時点のものという形になってございます。 まず、板橋グリーンカレッジ大学校 1 年生の欄をご覧いただきたいと思います。令和 5 年度までは 60 歳以上の方を対象として行っておりましたが、令和 6 年度からは年齢要件を撤廃いたしまして募集をしたところでございます。定員が 300 名で今年度募集させていただいたところ、213 名の方からご応募いただきました。新しい年代層といたしまして、60 歳以下の方につきましては、53 名の方がいらっしゃいまして、10 代から 80 代まで幅広い世代の方にご応募いただいたという形になってございます。年代の内訳につきましては、詳細を右の方に載せてございますので、ご確認をいただければと存じます。 続きまして、板橋グリーンカレッジ大学校専門課程の欄をご覧いただきたいと存じます。専門課程につきましては、昨年度からの進学者がいらっしゃるため、移行期間といたしまして、昨年度までのコース選択制で実施をしているところでございます。定員につきましては、聴講生を含めまして、各コース 120 名、計 360 名となっております。教養課程からの進学者につきましては 138 名、聴講生が 174 名という形になっております。聴講生につきましては、今年度から定員を増やしたところでございますけれども、文化文学コースのみ定員を超えてのご応募いただきましたので、落選者の方が出てしまっていたというような結果でございます。 続きまして、板橋グリーンカレッジ大学院の欄をご覧いただければと存じます。大学院につきましては定員が各コース 30 名で、合計 90 名といった形となっておりますけれども、今年度の入学決定者数につきましては 57 名となっております。それぞれ文化文学コースが 21 名、社会生活コースが 22 名、健康福祉コースが 14 名という形でございます。 どのコースの定員割れとはなっておりますけれども、昨年度より比較いたし

	まして、応募者数は増えているというような結果になっているところでございます。募集にあたりましては、広報いたばしへの掲載、ホームページへの掲載、受講生のチラシの配布などを行ったところでございます。雑駁でございますけれども、資料3の説明は以上となります。
(議長)	ありがとうございます。資料3の説明が終わりました。ご質問、ご意見のある方はご発言ください。
(委員)	はい。一番上の右側の年代内訳のところで伺いたいのですが、10代が1名で大変喜ばしく思いますが、80代で8名もいらっしゃるって、大変素晴らしいと思うのですけども、男女の比ですと、どんなもんでしょうか。
(事務局)	大体半々という形になってございます。
(委員)	ありがとうございます。80代の方で、やはり学ぶっていう意識があるということは、意識だけじゃなくて、健康でないとなかなかそういったことって意欲ってわからないと思いますね。本当素晴らしいと思います。
(事務局)	ありがとうございます。
(議長)	ちょっと聞きたいのですけど、このグリーンカレッジは何年前から始まったのでしたっけ。
(事務局)	平成6年度からです。
(議長)	今回初めての委員の方がいらっしゃって、共有しようと思って今お話ししますけども、前回までは60歳以上の人を対象として、ずっとグリーンカレッジを続けてきました。今年度からですね、今後は年齢を撤廃しようということで、こういうふうな運びになったのですけども、もめたわけではないけど、いろんな意見があって、60歳以上を続けましょうって人もいたし、やや年代は関係なくってことでしてきたわけですけど、まだ1回目なんですけど、感触としてはどうでしょうか。
(事務局)	はい。先ほどお話をさせていただきましたとおり、213名のうち53名といったところで、25%の程度の方が、60歳未満といったような形になってございます。議長からご指摘いただきましたとおり、これまで令和5年度までは60歳以上という形でやらせていただいております、その前の令和4年度までは健康生きがい部というところでやっております、長寿関係の部署でやっていたというようなところでございます。生涯学習課の方に参りまして、私も人生100年時代といったところで、若い方から先ほど80代のご指摘いた

	だきましたけれども、高齢の方ですべての方に学んでいただきたいといったところで、広げさせていただきまして、今回4分の1というような結果になってございましたので、まずまずの結果かなというふうに思っているところでございます。
(議長)	ありがとうございます。議長が質問して申し訳なかったです。その他何かご質問、ご意見のある方はいらっしゃいますか。
(副議長)	今まで、OB会では60歳以上ということになっています。ただし、グリーンカレッジの卒業生ということになっていますので、例えば30代や40代の方が卒業されて、OB会に入りたいとなった時にはどうしたらいいでしょうか。
(事務局)	OB会につきましては、任意の団体という形になりますので、事務局の方からっていうわけにはちょっとなかなかいかないと思いますけれども、基本的には会長がおっしゃったように、卒業された方といったところなので、OB会の規約とかをもし改正していただけるようであれば。
(副議長)	OB会の規約もありますけれども、もう一度この問題については、検討する必要があるかなというふうに思っております。
(事務局)	OB会のところで考え方をまとめていただいて、私どもとして反対するっていうところはないと思います。
(副議長)	ありがとうございます。わかりました。
(議長)	ありがとうございます。その他、ご意見ご質問の方いいですか。
(委員)	OB会っていうのはグリーンカレッジを卒業した方が入会するという基本的な会だったと思いますけども、今年度から若い人も、年齢制限なく募集したっていう意味を考えていくと、若い方でもOBっていうのは、年齢でOBではなくて、卒業生みんながOBというふうに考えていただけると、会も刷新するし、若い方だから勢いとかでまた変わっていくのではないかなと思いますけども、その辺協議していただいて、若い方も受け入れてみんなで盛り上げていきたいと思いますという会にいただけると、若い方もこれから学びたいということで受講者数もどんどん増えていくと思いますね。若い方は、板橋区もそうですけども、やはり減ってきていますので、こういうところで若い人の力っていうのを呼び込むってことは必要ではないかなと思います。
(議長)	貴重な意見ありがとうございます。他によろしいでしょうか。

(事務局)	それでは、続きまして資料4「令和6年度後期板橋グリーンカレッジ講義概要」の説明を事務局からお願いします。 それでは、続きまして資料4をご覧くださいと存じます。令和6年度後期のカリキュラムについてご説明をさせていただきます。 まず1年生からご説明させていただきたいと思います。 1ページ目をご覧くださいと存じます。 今年度から、新しく科目選択制という形を導入させていただいたところでございます。受講生につきましては、前期は11科目のうちから9科目、後期につきましては12科目から9科目お選びいただきまして、年間で18科目を受講していただく形をとっているところでございます。新しく取り入れました科目といたしましては、外国語「比較文学と文化の移植としての翻訳」、絵本「絵本から考えるSDGs入門」、地理「武蔵野台地と板橋区の地理」、建築学「東京のまちづくりと建築」、メディア論「デジタル時代とメディア文化」、統計学「確率・統計の楽しみ」などがございます。また、土日など休日に実施する講座や、教育科学館など区内施設で実施する講座の方も取り入れているところでございます。 続きまして、専門課程の講義概要についてご説明をさせていただきます。 こちらにつきましては、受講生周知のスケジュールの関係で、皆様に事前に承認をいただいたところになりますが、改めてご紹介をさせていただきたいと思います。 5ページをご覧ください。文化文学コースでございます。文化文学コースにつきましては、後期は「歴史・文化」をテーマといたしまして、現在までの様々な分野の歴史を学ぶことで、現代社会について理解を深め、考えるきっかけとなることを目的といたしまして、カリキュラムを組んだところでございます。近代の文化として、万博の歴史から戦国時代の文化、6ページに参りまして、古墳時代の歴史など、幅広い時代の講座を取り入れているところでございます。 続きまして、7ページ目をご覧くださいと存じます。 社会生活コースでございます。社会生活コースにつきましては、後期は「経済と暮らし」をテーマに、社会問題や経済について広く学び、暮らしに役立つ知識を得ることで、生活の質の向上を目的といたしまして、カリキュラムを組んだところでございます。渋沢栄一の生涯や、流通業界におけるAIなどの情報技術活用、8ページに続きまして、水産経済学などの講座を取り入れているところでございます。 最後に、9ページ目をご覧くださいと存じます。 健康福祉コースでございます。健康福祉コースにつきましては、後期は福祉をテーマに、生活に役立つ制度や知識を培い、受講者がより快適に生活できることを目的といたしまして、カリキュラムを組んだところでございます。仏教福祉や、発達障害などの講義を入れております。
--------------	---

	大学院につきましては、昨年度の運営協議会におきまして、1年間の日程はすでに決定をしているところでございます。後期の日程におきましては、3コースとも卒業研究発表会に向けまして、グループ学習を中心に進めていく予定となっています。 雑駁でございますけれども、資料4の説明は以上となります。
(議長)	ありがとうございます。資料4の説明が終わりました。 年齢を撤廃したことによってすごくバラエティーに富んだ科目が加わったと思います。おそらく皆さんがいろいろと講師の先生方に挨拶したりして、こういうプログラムをつくったのだと思います。今後ともよろしくお願いします。 他にご意見等ある方いらっしゃいますか。よろしいでしょうか。 それでは続きまして、協議事項の説明を事務局からお願いします。
(事務局)	はい。それでは、横の資料になります資料5をご覧ください。 令和7年度板橋グリーンカレッジ大学校のカリキュラムの案でございます。左が1年生、右が2年生となっております、それぞれの枠内が選択する科目名を示しているところでございます。 まずは左側の欄の1年生からでございます。1年生につきましては、年間で23科目のうちから、18科目を選択していただく形となります。各講座につきましては、1回完結の講座となっております、同内容の講座を2日程という形で実施するところでございます。ちょっと見づらいですが、一部網掛けをさせていただいている部分がございます。こちらに関しましては、板橋に関わる内容の講座や、板橋区の施設を活用して実施するものというところの網掛けでございます。また、それぞれ点線部分で分けさせていただいておりますけれども、点線部分につきましては2年生に繋がる6つのジャンルへの区分けという形をお示しさせていただいているところでございます。 続きまして、右側の欄の2年生の方をご覧くださいと思います。 こちらにつきましては、18科目をA「文学・芸術」からF「情報科学」まで、6つのジャンルに分けさせていただいているところでございます。ここでは1年生で広く学んだ教養科目について、さらに深く学習をしていただく形とさせていただいているところでございます。各科目につきましては、連続する3回の講座となっております、年間18科目から6科目を選択していただいて、それぞれ連続する3回の講座を受けていただきますので、合計18回の講座をご受講いただくという形でございます。18科目につきましては、1年生で人気の高い科目を中心に組んでいるというような形をとらせていただいているところでございます。 なお大学院につきましては、今年度卒業予定の方が進学されるという形になりますので、移行期間となっているところでございます。文化文学コース、社会生活コース、健康福祉コースの3つのコースから、1つのコースを選択

	する、今までのカリキュラムを続けていくという形になります。 このカリキュラムにつきましては、令和7年度で終了という形になりまして、令和8年度からは大学院も新しいカリキュラムで実施をしたいというふうに考えているところでございます。詳細につきましては、それまでの大学の運営を見ながら、今後検討を進めていきたいというふうに考えているところでございます。 また、現在、令和8年度のフルリニューアルオープンに向けまして、様々な改革を進めているところであります。CI戦略といった形で、現在グリーンカレッジのオフィシャルのロゴを作成したいというふうに考えているところでございます。詳細等につきましては、今後の運営協議会、次回以降でご報告をしながら進めさせていただきたいというふうに考えているところでございます。 長くなりましたが、説明の方は以上となります。事前にご意見をいただいている方もいらっしゃいますけれども、今日この場でもご意見をいただければと思っております。忌憚のないご発言をいただければと存じます。よろしくお願いいたします。
(議長)	ありがとうございます。協議事項の説明が終わりました。ご質問、ご意見のある方はご発言ください。
(委員)	カリキュラムにはもちろん日程等も含まれると思うので、ちょっとご質問ですけれども、今年度1年生から、年齢制限を撤廃したということで、この資料4を拝見しておりまして、開催がいわゆるウィークデーにあるということで、7年度以降ですね、例えば、若い人に参加して欲しいということであれば、土日開催であるとか、そんなこともちょっと検討してもいいのかなと思いつつ今見ておりました。ただ、今までの高齢者の世代の方は、こちらの慣れ親しんだウィークデーの方がいいのかもしれないし、何とも言えませんが、そこもカリキュラムということで、ご検討いただけるとよろしいかと思います。以上です。
(事務局)	ありがとうございます。資料4をご覧いただければと思うのですが、一部に日曜日の開催というのを少し入れさせていただいているところがございます。なかなか土日に全部できればいいとは思いますが、講師の先生の都合等もございまして、今年度、何度か日曜日開催をさせていただきますので、そういったところでのアンケート結果等も踏まえて、今後検討を進めてまいりたいと考えているところでございます。
(委員)	もう一つ質問ですが、逆に今年度30代とか40代の方々ってお休みしてきているのか、どういう方なのでしょう。

(事務局)	属性までは実は調べられてなくて、何をしているかわからないですけど、お話している中で、自営の方もいらっしゃる会社をこの日はちょっと休まなくちゃいけないからとか調整してきている人もいらっしゃるって、結構いろいろな層がいらっしゃると思います。あとは、10代20代の層については、おそらく学生さん、専門学校の学生さんかもしくは何かアルバイトとかやりながらやっているのかなっていうようなのは、はたから見てもですけども、今後はまた統計をとっていきたいと思います。
(事務局)	補足でなんですけれども、今は座学が中心になっておりまして、出先の方に出張って行ってという形の講座を取り入れているところなんですけれども、現在DX化が図れないかなということを考えておりまして、ご欠席された場合でも、そのあと振り返りで授業が見られるとか、そういうことを今すぐにはできないと思いますが、何年かかけて導入できたかなというふうに考えているところでございます。実施の時間体とか日時につきましても、いろいろとご意見をいただきたいと思いますので、そういったところで受けられない方が、今後は新たにDXとかで受けられるような形が取り入れられればなというふうに思いまして、今事務局で検討を開始したというようなところでございます。
(委員)	実は続けて質問しようかと思っていたのはそういうことで、確かに他市さん、他区さんなんかでも、そういう形でLINEあるいはオンデマンドで実施されているので、ご検討されるということで非常に心強く思っております。
(事務局)	よろしく願いいたします。温かく見守っていただければと思います。
(議長)	ありがとうございます。他に何かございますか。
(委員)	ありがとうございます。 資料5の内容に関してなんですけれども、大学校の1年生の科目に関して、網掛け部分は、板橋区内の施設を利用してっていうふうに説明してくださったかと思うのですけれども、結構領域で見ると、施設を利用するジャンルとされないジャンルがあるかなっていうふうに思いまして、板橋区は結構絵本に力を入れていらっしゃるもしましたので、例えば網掛けの入っていないAの領域のところで、実際に板橋の絵本の取り組み関連の施設に行かれるみたいな形であったりですとか、他のコースと同じように1ヶ所は何かこう施設とか入れていただけると、バランス的にいいのかなっていうふうに思いまして、感想的な形にはなるんですけども、一応発言だけさせていただきます。
(事務局)	ありがとうございます。絵本のまちを推進している板橋区ということで、

	非常に貴重なご意見だと思いますので、ぜひそこら辺も進めて検討をしてまいりたいというふうに考えてございます。
(委員)	ありがとうございます。
(委員)	資料を拝見しましてカリキュラムのところですけども、これまで弊所の関係のものや、去年もやられたような高齢期のフレイル予防に関する内容が例年入っていたかと思うのですけれども、今年度からは年齢要件がなくなり60歳未満の方も含まれるということで、何か内容をより広く、幅広い年代等に興味を持たれるようアップデートされたという認識でよろしかったでしょうか。フレイル予防を入れて欲しいという意図ではないですけども、そういった認識でよいか確認をさせていただきました。
(事務局)	ありがとうございます。今年度につきましては、多世代化を図ったところがございますので、まずは多世代の方が学べるものというところで幅広いジャンルから選んでいただきたいというような形をとっているところでございます。今後につきましては、アンケートを実施してまいりまして、上位のものですとか、あとは他に何が学びたいですかといったようなアンケートをとらせていただいて、そこで年代等もアンケートで出てまいりますので、どういった年代の方が、どういったものを受けたいのかということを探しまして、今後ボトムアップといいますか、スキームの調整を図ってまいりたいというふうに考えているところでございます。
(委員)	ぜひ興味深いので、また教えていただければと思います。
(議長)	ありがとうございます。他の方はいかがでしょう。
(委員)	お話があったように、若い人が健康とか福祉とか介護とか学ぶことはとても必要なことだと思いますね。例えば、自分のおばあちゃんに聞いて欲しいとか、若い子でそういうことに興味を持っている人いると思います、学校で教えてくれないので。健康面のところになるでしょうか。あとは福祉とか、若い人にこれから介護職に就いて欲しいということを望むのであれば、若いうちから興味を持ってもらって、そういった科目を増やしていただけないかなと私は思います。若い人がこれから支えていかなきゃいけないですよ、ね、どこの県も。若い人を育てるという意味では、歴史文化とか文学芸術なんかもちろん必要ですけども、課題になっている日本の社会保障っていうのが、もう少し力を入れていただくといいかなと思います。
(議長)	ありがとうございました。他に何かございますか。

(委員)	ありがとうございました。まずは板橋区教育委員会としては、先ほど議長からも話ありましたが、昨年度までと今年度からのやり方が、がらりと変わっているところで、それを踏まえて今回提示している7年度のカリキュラムを作っているのですが、今のところ事務局サイドとしても、どこまで適切に最適にできているかというのは、疑問な状態で今スタートしていると思います。先ほど事務局から話がありました、より多くの人たちの意見といえますか、アンケートを踏まえてですね、ちょっと修練をさせていただいて、今大分散らかっているというか幅が広がっているところもありますので。今受けられている方が何を求めているのかっていうのは、もうちょっと的確に把握をすると、来年度以降のカリキュラムについても、もう少し整理をされていくのかなっていうのが一つ思うところです。 それから、私ども板橋区ですので、この網掛けになっているような板橋に関する部分、ここら辺ももう少し充実をして、板橋区の魅力というか、特徴というか、そういうところを区民の皆様にぜひ知っていただきたいなということもございますので、今後もこの板橋に関するようなカリキュラムっていうのを少しずつ増やしていければいいかなと思っているところでございます。
(議長)	ありがとうございます。事務局から言い添えることはありますか。
(事務局)	皆様の様々なご意見をいただきましてありがとうございます。部長からお話ありましたけれども、いろいろな方がどのようなことを考えているのかっていうのをアンケートで取らせていただいて、またその結果も運営協議会等でお示ししてご相談をさせていただきたいというふうに感じたところでございます。
(議長)	ありがとうございます。
(事務局)	それでは、本日ご欠席の委員から、事前にご意見の方を頂戴していただきますので、申し伝えさせていただきたいと存じます。 まず資料5につきましては、幅広いジャンルを盛り込んでいて、この中から各学年、18講座を選ぶという方式は大変良いと思います。まだ構想段階なのでテーマの絞り込みはこれからだと思いますが、1年生の科目番号、①・②・⑤・⑥・⑩、それと2年生の①は範囲が広いので、魅力的なテーマへの絞り込みを期待したいと思います。また、講義全体について、受講生目線からのご意見をいただきまして、講師の方がとてもたくさんの資料と幅広い内容をお話いただきますが、最後に駆け足となってしまうことがあるため、話す内容をポイントで絞ってお話いただきたいと思いますといったご意見もいただいているところでございます。 最後に大学院についてですけれども、少人数のグループによる講義は大変

	結構なことであり、出席者の真剣度も大学校とは明らかに違いがあります。 講義への取り組み、質問内容にも違いが感じられます。委員につきましては、現在受講されている今年度の社会生活コースで実施した、フィールドワークでも同様の違いが感じられましたというようなご意見を頂戴しているところでございます。以上でございます。
(議長)	ありがとうございます。全体で何かご意見、コメント等があればご発言ください。よろしいでしょうか。それでは協議事項について、これで承認とさせていただきますと思いますが、よろしいでしょうか。 それでは、本日の協議会は以上で終了とさせていただきます。あとは事務局にお戻しいたします。
(事務局)	ありがとうございました。 委員の皆様も含めまして、お疲れ様でございました。 本日皆様からいただきました貴重なご意見を今後の板橋グリーンカレッジの運営の参考とさせていただきたいと存じます。次回の運営協議会につきましては、12月頃の開催を予定しているところでございます。また日程調整をさせていただきたいと思いますので、ご協力のほどよろしくお願いしたいと思います。日程を調整させていただきまして、決定いたしましたらご通知させていただきます。 以上をもちまして、令和6年度第1回板橋グリーンカレッジ運営協議会を閉会させていただきたいと思います。誠にありがとうございました。